



ら しん ばん 羅 針 盤

2021年4月9日 第1号

魚住東中学校 校長室から

輝く季節の始まりです

校長 赤松 弘一



春はまさに輝ける季節です。私たちの周りには光が満ち、寒い冬を耐えた生き物たちは明るい日差しを浴びて、生きていることの喜びを表すかのように輝きだします。この素晴らしい季節の中、8日の入学式で新1年生を迎え、全校生がそろって令和3年度の魚住東丸は出帆しました。いっばいに広げた帆に風を受けて、大海原を進みます。時には、逆風にあおられたり、激しい嵐の中で大波を受けることもあるでしょう。しかし、そんな時にもじっと耐え忍べば必ず順風が吹いてきます。

何の目印もない大海原を進む船は、その行くべき方角を知るために羅針盤（コンパス）を積んでいます。星も見えない嵐の夜でも、揺れる船の上で羅針盤は北を指し続けます。皆さんのこれからの人生という航海にも羅針盤が必要です。それは今は人生の先輩である、お父さんやお母さん、先生など、皆さんを支えてくれる様々な人です。

いずれ皆さんは、自分の船に乗ってひとりで漕ぎ出します。自分で自分の進むべき道を決めていかなければなりません。その時の羅針盤は自分自身です。自分という羅針盤が指し示す方角は正しいのか？信じてよいのか？きっと皆さんは不安になることがあるでしょう。未知の海を前にして当然のことです、その時、誤りなく道を選んでいけるように、しっかりと自分を鍛えておかねばなりません。人の言葉に惑わされず、正

しく善悪を見抜き、自分の行動には責任を持ち、自立して生きていけるたくましさや身につけておけば、自分という羅針盤を信じられるはずで、中学生の時期にいろいろなことに怯まず挑戦し、苦しいことから逃げずに乗り越えた経験は、大きな自信になります。また、失敗も正しい道を選ぶためには無駄ではありません。なりたい自分に近づくために一日一日を大切にしましょう。

コロナ感染で大変な時ですが、できないことを嘆くだけでは何も変わりません。こんな時でもできることを探し、工夫し、前を向いて力を合わせて歩んでいきましょう。

保護者の皆様へ

この4月から本校に校長として着任しました赤松です。どうぞよろしくお願いいたします。子どもたちは前期青年期の多感な時期にあります。この数年間は一生の中でも心身ともに大きく成長する時期です。時には反抗したり、つまずいたりすることもあるかもしれません。しかし、それら全ては子どもたちがたくましく自立して生きていくための糧となるでしょう。何かとご心配なこともおありかと存じますが、学校と家庭が緊密に連絡を取り合いながら、地域の皆様とともに子どもの成長を見守っていきたいと思います。よろしくご協力賜りますようお願いいたします。